

## 【シートの使い方】

「**規範項目**」：農業生産活動に潜むリスクを踏まえ、GAPに取り組む上でのポイント

「**取組事項**」：規範項目の達成に効果のある取組例

- 取組事項ごとに、自らの農業生産の現状と照らし合わせ、「○ △ ×」の三段階で自己点検し、結果を記入します。その際、具体的な状況や問題点をメモに記入しましょう。
- 実践する必要のない取組事項については、点検結果を「－」とし、必要なしとした理由をメモに記入しましょう。
- 近年発生した**クレーム**や**事故(ヒヤリ・ハット含む)**があれば、その状況や対応等を記録しましょう。
- 「×」や「△」がついた取組事項について、クレームや事故等の情報も参考にしながら、改善策を考えましょう。  
そして、「×」がついたものや重要度が「**必須**」のものから優先的に、自らの農業生産活動に反映させましょう。

「○」：取組事項を実践し、規範項目を達成できている  
 「△」：取組事項を実践したが、効果が十分でなく、規範項目を達成できていない  
 「×」：取組事項を実践できず、規範項目を達成できていない（BAPの可能性あり）  
 「－」：実践する必要がない

## 【とやまGAP自己点検シートの記載例】

規範項目	項目番号:『規範項目』 <目的> 重要度 (内訳は取組事項) [メモ: 取組状況や問題点及び、その改善策等を書き込んでください]	点検結果	取組効果
	<b>1</b> ：『ほ場の位置・面積等に係る記録の作成』 <安全> <b>重要</b>		
	・全てのほ場やハウス等の施設について、管理台帳等を整備している。 [メモ: ]	○	
<b>1</b>	・危機対応についてのマニュアルや緊急時の連絡先一覧を作成している。 [メモ: <b>緊急時の連絡先一覧はあるが、危機対応マニュアルは整備していない。</b> → <b>危機対応マニュアルを整備する。</b> <b>4</b> ]	△	・情報の把握や共有ができる。 ・緊急時の対応がしやすくなる。
<b>1</b>	・台帳、地図、図面に整理した情報は、事務所や作業場に掲示するなどにより、作業員全員で共有し、作業の打合せなどに活用している。 [メモ: <b>作業員全員で共有できていない。</b> → <b>誰でも見られるように掲示し、打合せ等でも積極的に活用する。</b> <b>4</b> ]	×	
	<b>2</b> ：『登録種苗の適切な使用』 <安全> <b>必須</b>		
<b>2</b>	・農作物の種子や果樹の枝(穂木、剪定枝等)を、許可無く他の農家等に譲渡したり、海外へ持ち出していない。 [メモ: <b>登録種苗の取扱なし</b> ]	－	・法令に基づく知的財産権を保護するとともに、その活用ができる。

☆ 近年発生した「クレーム」や「事故(ヒヤリ・ハット含む)」の情報を具体的に記録しましょう。

<b>3</b>	出荷したネギの箱にハサミが入っていたとのクレームあり。 草刈り時に小石が飛んで目に入って通院した。
----------	--

### 目的

「**安全**」：安全な農産物の生産  
 「**環境**」：環境保全  
 「**労働**」：農業者の安全確保

### 重要度

「**必須**」：法令等に基づき必ず実施しなければならないもの  
 「**重要**」：実施すべき重要なもの  
 「**奨励**」：実践することが望ましいもの